

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（8月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

### ● 8月総括

8月は暇だしどこか旅行に行こうと思っていたのですが、突然何に対してもやる気が全く起きなくなり変化の無い日々をだらだらと過ごしてしまいました。特に面白いことも新しいこともなく過ごしたので、書く内容の無さに困っています。

### ● 「働く」ということ

他のルームメイトはバイトかインターシップなのか分かりませんが、workに行くと言って大体朝から夕方まで出ていて、日中は大体僕一人になるので、取り残されたときに「これが無職の何とも言えない孤独感か…」と思いました。8月の前半はアジアセンター所長のシェルバンさんに紹介して貰ったところにボランティアに行けていたんですが、色々あって辞めてしまったので後半は真のニートでした。ルームメイトの中には、朝5時に起きて出て行ったり、帰ってこない日があったりしてエンジニア志望は忙しいのかなとおもいました。

他に夏にルーマニアにいる学生に聞いても、インターンシップは大体ルーマニア語だから出来なかったというのを聞いてやはり言語の壁は相変わらず高いな、と。

### ● 個人的に面白かったこと

ベッドのシーツがなかったからショッピングモールに買いに行ったとき、朝に行って商品買って映画見た後に同じお店のところにまた戻る、ということをしました。すると警備員のおばちゃんみたいな人が近づいてきて、朝に買った商品指して、「これどうしたの」と聞いてきました。あれ。これももしかして何か疑われてる？と思いここで買ったと言うと、レシート見せてと言われて仕方ないなあと思ったら、そのレシートを商品買った直後になぜか捨てていて、証明するものが何もありませんでした。レシート捨てちゃった、と言うと、「じゃあ担当したレジ教えて」と言われ、「いやあさ買ったからもう店員変わってると思う」と伝え、実際担当した人はどこのレジにもいませんでした。しかも店員が交代してる何度言っても、「何言ってるか分からない」って返されて。いやいやさっきまで普通にコミュニケーション出来たやん！と思いつつ、結局最後まで聞いてもらえず…。次はビデオ確認するからと言われ、そこまで本格的に疑われているのかと思いましたが、調べられたところでやましいことは無いので了解しました。警備員ばい人たちが来てそのおばちゃんと声大きめにやり取りすると、ルーマニア語でその警備員の人たちに何か言われたけどポカンとしていた

らつたない英語で今回はもういいというようなことを言われ事なきを得ました。

でも今回の出来事で一番腹が立ったのがルーマニア語が分からなかった時のその警備員たちの反応でした。何を言っているかはあまり分かりませんが、中国人と言っているのは分かり、どうやらこいつは中国人だから、みたいなことを言っていたようで。違う可能性なんていくらでもあるのに、自分で確かめることもせず決めつけてしまう態度はよくないなと自分自身に対する教訓としても覚えておこうと思いました。

8月については以上です…。今回は特に写真もありません…。